

第5章 奥羽本線(新庄～天童、米沢～福島)

2023年6月14日(水)から5泊6日の奥羽本線仕上げの旅、当初の通り歩きを終え、奥羽本線(青森～弘前～大館～東能代～秋田～大曲～横手～湯沢～新庄～天童～山形～米沢～福島:総営業キロ:484.5 km)の踏破が通算5回目の旅で完成する。そのうち、今回の旅は、新庄～天童(48.2 km)と米沢～福島(40.1 km)の鉄道つたい歩きで、全駅舎立ち寄りに成功する。



福島駅西口 17:52



これで通算営業キロは、**1万4千721km**(活動日数**727日**、日本の鉄道の**53.1%**、地球円周の**36.8%**)となり、当面の目標の1万5千キロまで**279km**と迫る。同時に”日本横断鉄道つたい歩き”PDF 読本シリーズの**第29編(奥羽本線)**が執筆できる環境となる。



6月18日(日)カツ酒場”ふじまる”で祝杯

米沢から福島の区間は、これまで23年間の歩きで、最も難しい区間だった。板谷～峠～大沢の区間は、熊の出没の恐れがあり、笛を吹きながら歩いた。また、大沢駅手間でナビ情報によると、通行止めのマークがあり、安全と環境確認のため、山形駅前の交番から助言を頂き、山形置賜(おいたま)総合支庁に問い合わせることにした。加えて、板谷から庭坂の区間は14.3kmもあり、山また山のため、10km位大きく迂回を余儀なくされた。このため、路に迷う場面に遭遇した。

上記以外に今回の旅で特筆すべき事項は次の通り。

①6月15日(木)、新庄から舟形に向かう際、山形方面ではなく湯沢方面に向かう歩きとなった。このため50分ロスタイムが生じる。このようなスタート場面での錯覚は、これまでの歩きで何回も経験済である。

②宗谷本線踏破以来、久し振りに笛を吹く場面に遭遇した。

③新庄から大石田までの歩きを終え、大石田駅から山形駅に向かう2両編成の車両内でフコク生命時代の同期と遭遇する。他人の空似と思ひ互いに確認しなかったが、山形駅構内の”さくらんぼ売り場前”で再度会う。勇気を出し、「山田君？」と声をかける機会を得る。「そうだよ。ゴルフの帰り、これから新幹線で仙台に向かう。君は歩きか。時間がないのでゆっくり話ができずゴメン」と。世間は狭いと痛感する。山田氏には宗谷本線の踏破の際、かつて旭川支社長の経験があり、道筋など色々教えて頂いたことを思い出し懐かしくなる。

④大石田駅から袖崎駅にかけて大雨に遭遇する。事前に用意したカッパが功を奏す。

⑤峠駅から板谷駅に向かう際、猿の群れに遭遇。笛を吹き、猿の群れを遠ざける。

⑥峠駅のホームで峠の合格”力餅”(1,000円)の売る場面に遭遇する。



古老が語る峠の力餅は我々が幼い頃から口にした郷土の味です
 遠く明治三十二年福島米沢間に初めて鉄道が開通し板谷峠の難所
 吾妻越の山腹に峠駅がますられ人も車もほつとひといさ入れたものでした

商標

峠の力餅

昔も今も

奥州路
板谷峠の力餅

奥羽本線峠駅構内営業
商号登記済
峠の茶屋

代表者 小杉隆秀
山形県米沢市大沢848番地
TEL 0238 (34) 2301

海抜624米

至福島

滑川 姥湯

滑川大滝 (日本の滝百選)

到米沢

峠駅

至福島

賞味期限・下部側面に記載
 原材料・餅米・上白糖・小豆
 保存方法・常温で保存
 製造者・峠の茶屋

主ものですので、お早目に。

※峠駅

⑦板谷駅、峠駅、大沢駅でスイッチバック遺構をはじめ、旧駅舎、ホーム、線路、駅名標、危険庫などに遭遇する。板谷駅で横浜・千葉からやってきた乗り鉄・乗り鉄ファンと出会う。



※板谷駅

第1節 旅プラン(新庄～天童、米沢～福島) 88.3 km

○2023年6月14日(水)

つばさ139号 大宮 13:25 → 山形 15:50

アパホテル泊 023-633-9111



○6月15日(木)

つばさ171号 山形 7:01 → 新庄 7:46

新庄～舟形～芦沢～北大石田～大石田 (21.7 km)

大石田 14:39 → 山形 15:32

山形西口ワシントンホテル泊 023-647-9111



○6月16日(金)

山形 5:53 → 大石田 6:45

大石田～袖崎～村山～東根～さくらんぼ東根～神町～乱川～天童(26.5 km)

天童 17:03 → 山形 17:23

山形西ロワシントンホテル泊

○6月17日(土)

山形 6:23 → 峠 7:35

峠～板谷～大沢～関根～米沢 (18.9 km)

ホテルルーイン米沢 0238-26-1121)

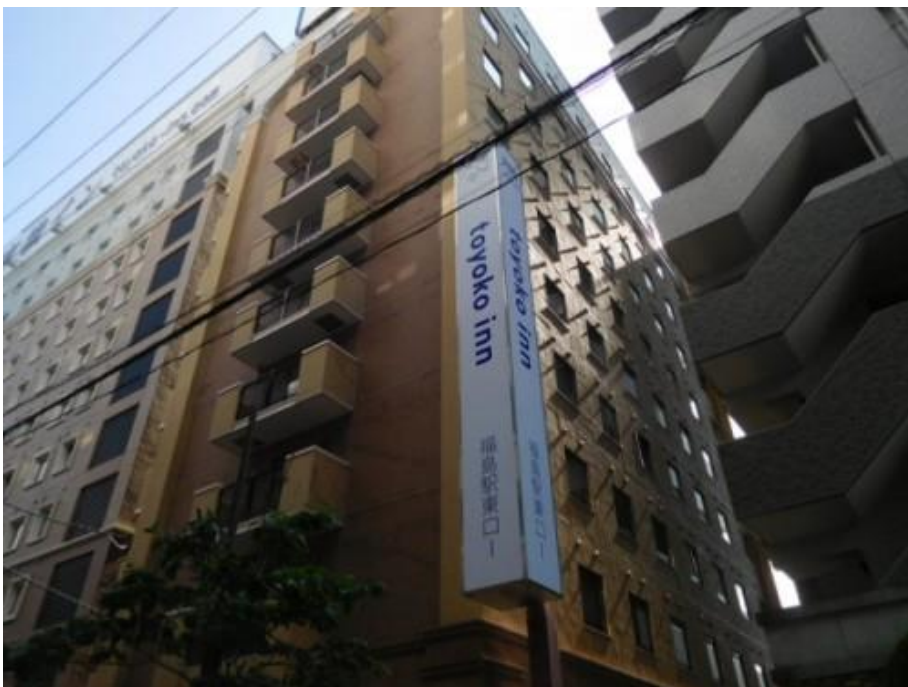


○6月18日(日)

米沢 7:18 → 板谷 7:41

板谷～庭坂～笹木野～福島 (21, 2 km)

東横イン福島東口 I 024-524-1045



○6月19日(月)

つばさ128号 福島9:16 → 大宮10:23

第2節 1日目:2023年6月14日(水):移動日 曇り

2023年6月14日(水)曇り、奥羽本線の仕上げ旅の一日目は、自宅から山形駅界限にあるアパホテルまでの行程。難解な福島～米沢の区間経過後、2019年10月踏破した米沢～山形の区間を思い出しながら山形駅に向かう。ホテルには16時半頃到着。



※大宮駅



※山形駅

汗を流し、ホテルから駅まで散歩後、ホテルから推薦を受けた”やながたおしょうしな相違本店”に17時半過ぎ出向き、山形郷土料理を堪能させて頂く。



※ホテルで一服

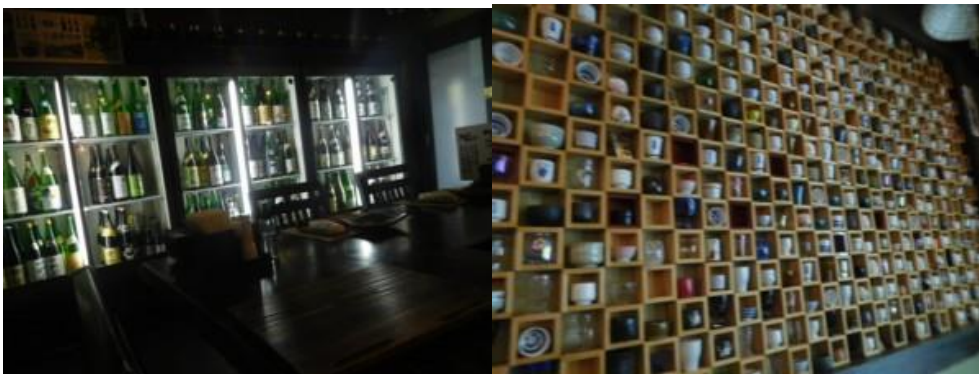


※山形おしよしな総本店

この店は予約客が殆どで、ラッキーにも予約なしで、この店に入ることができる。ビックリする程、沢山のラインナップの日本酒や盃が玄関先にあった。この店で2時間弱寛がさせて頂く。明日から奥羽本線の仕上げ旅に向かって、酒あり料理ありの愉快的な前夜祭であった。



※開店時間 17 時半 その調整のため駅まで散歩



※豊富な日本酒と盃のラインナップ(自分の好きな盃を選択できる)



第3節 2日目:6月15日(木):新庄～大石田 曇り

2023年6月15日(木)曇り、奥羽本線の仕上げ旅の二日目は、新庄駅から大石田駅までの営業キロ21.7kmに挑戦する。重いリュックをホテルに預け、身軽な格好で臨む。コンビニで昨夜購入したむすびを食べ、7時1分発のつばさ171号で新庄まで移動する。13号車には私を含め3名であった。昨年の8月以来の新庄駅には7時46分に到着する。懐かしい駅前を散策後、誤って湯沢方面に進行していた。25分位歩き、舟形という地名が一向に登場しない。また、金山と地名が登場し、もしかすると反対方向に進んでいるのではと察知する。歩き当初は小雨模様のため、地図を確認する余裕はなかった。運よく通行人の方と対面し、「舟形や南新庄の方向」をお伺いする。「とんでもない方向に歩いています。新庄駅に戻ってリカバリーして下さい」と教えて頂く。小走りで新庄駅に8時35分頃戻る。念のため、駅前交番で舟形方面の道筋をお伺いする。「駅構内の通路を経由し、国道13号線に出て下さい。道なりに歩いた先に南新庄駅と舟形駅があります」と教えて頂く。通路を渡ると、昨年8月お世話になったルートイン新庄があった。運よくここから曇り空となる。



※アパホテルチェックアウト、山形駅構内



※新幹線にて



※新庄駅



※昨年 8 月にお世話になった”やまきホテル”を經由して誤った道筋を行進



※新庄駅の戻る

各駅舎の到着時刻は次の通り。

新庄(7:53)～舟形(10:47)～芦沢(12:23)～北大石田(13:14)～大石田(14:22)

①再度新庄駅に戻り、駅構内の通路を経由し、13号線に8時46分合流する。8時48分、万歩計で79歩ある新関屋橋を渡る。9時17分、福島150km、山形60km、尾花沢21kmと記した道路標識前を通過。9時48分、陸羽東線(非電化)の南新庄駅に到着。次の駅は長沢駅であった。この駅前を奥羽本線の電車が通過して行く場面に遭遇する。10時、新庄市から舟形町となる。10時15分、曇り空から薄日となる。10時20分、陸羽東線の線路を跨ぐ。この境界は、舟形町柴山であった。10時28分、山形55km、尾花沢16kmと記した道路標識前を通過。10時35分、332歩ある舟形橋(小国川)を渡る。そして、やっとのことで舟形駅に10時47分到着する。



※南新庄駅への路



※陸羽東線の南新庄駅





舟形橋、舟形駅

②11時4分。舟形跨線橋を經由して鉄道の右側となる。11時5分、435mある猿波根トンネル前で尾花沢市となる。11時28分、高速道路下を潜る。11時33分、福島142km、山形52km、東根31kmと記した道路標識前を通過。11時58分、廃校となった尾花沢市立名木沢小学校前を通過。最近、このような少子化を受けた廃校前をしばしば見かける。寂しい限り。12時3分、名木沢橋を渡る。12時17分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。芦沢駅には12時23分到着。



※芦沢駅への路



※芦沢駅

③北大石田駅への道筋は、鉄道に沿った右側を淡々と歩く。間もなく歩くと、高速道路が絡み複雑な道筋となる。ラッキーにもナビで確認したところ、北大石田駅は近しとの表示がある。鉄道に近づき、鷹ノ巣踏切を横切った先に北大石田駅が 13 時 14 分あった。



※北大石田駅への路



※鷹ノ巣踏切





※北大石田駅

④13時22分、八幡神社の前で遅まきながら本日の安全を祈願する。13時31分、110歩ある野尻川橋(野尻川)を渡る。何とか14時39分の電車に間に合うようスピードアップする。14時6分より、289歩ある丹生川を渡る。駅前らしい道筋となる。大石田駅には14時22分到着。駅構内にある売店でアイス、ミックス、クルミ餅を購入し、ランチフォローとする。



※大石田駅への路



※大石田駅

⑤この電車の中で、冒頭でご紹介したフコク生命時代の同期と再会する。電車の中で互いに確認しない時間が続く。もし、お互いに勇気を出して確認しておれば、もう少し有意義な時間が過ごせたと大いに反省する。

⑥15時32分、山形駅に到着する否やワシントンホテルに出向きチェックインする。24階にフロントがあり、20階から24階までワシントンが使用していた。このホテルの手続き後、アパホテルに出向き今朝預かって頂いた荷物を取りに行く。ワシントンホテルには16時40分到着。



※24 階にあるワシントンホテルフロント

⑦時間があつたので、6月17日の歩きの板谷～峠～大沢の区間の道筋をJR山形駅に出向き確認に向かう。駅員さんから「×マークがあるので心配」との助言を頂く。これを受けて山形駅前の交番に出向き、対策の助言を頂く。「明日8時30分から17時15分の時間帯に山形県置賜総合支庁(0238-26-6000)か米沢警察署(0238-26-0110)に確認して下さい」と。お礼を言って別れる。安全対策としてタイムリーな訪問であつたと痛感する。

⑧駅前の“ぼんちゃん”(山形おしょうしな総本店の姉妹店)に立ち寄り、本日の疲れを癒す。暫く来客がなかつたのでマスターと世間話をする機会を得る。元気をもらう時間帯だった。



※山形もつ焼串酒場にて